

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年5月15日

団体名 岡崎に能楽を広める会

代表者 大津 一夫

構成員 54 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

会員相互の親睦を図りながら、岡崎城二の丸能楽堂等を活用し能楽を広め、広く市民の皆さんに能・狂言を理解し親しんでもらい、城下町岡崎の文化の一つとして「能の町岡崎」として広く知られるようになることを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
5月4日	岡崎城二の 丸能楽堂	会員・一般市民	180名	薪能「鶉飼」
7月27日 8月3・10・ 17・24日 9月21日	森越公民館	園児・児童	20名	子ども能楽教室
11月9日		会員・一般市民	14名	総会・記念講演 演題「融の思い ～光る君のモデルと呼ばれて～」 シテ方 金剛流 羽多野良子様

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしめましたか。

日本の伝統文化である能楽を広め、次世代を担う子供たち・親関心が高まることにより、伝統文化の意識が高まる。また、伝統文化等の行事への参加につながる。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 ④ 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

公益性として、例年行っています「薪能」に加え、児童の夏休みを利用し「子ども能楽教室」の開催ができたため例年よりも公益性が図られた。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。